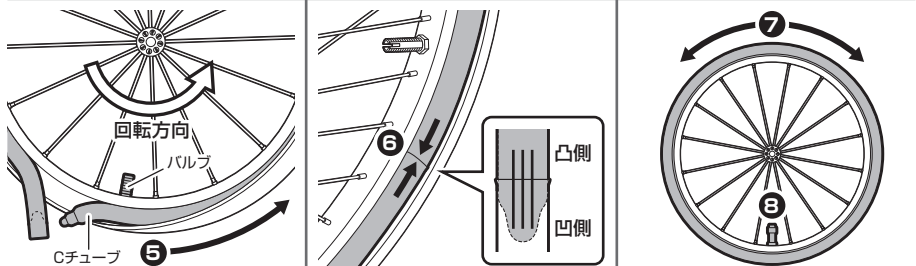
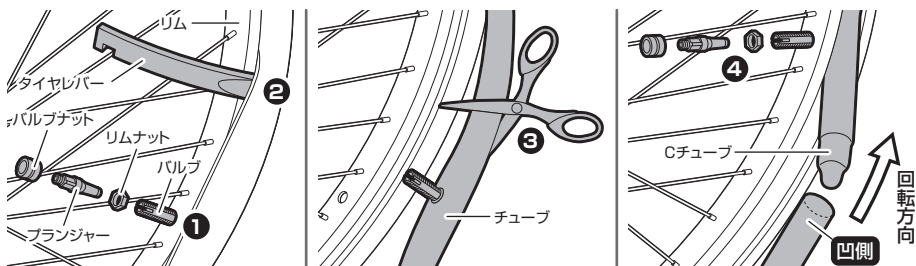


## - 取扱説明書 -



① バルブからバルブナット・プランジャー・リムナットを取り外し、チューブ内の空気を抜きます。

② タイヤレバーで片側のビードすべてをリムから取り外します。

③ 古いチューブを引き出してハサミでカットし、タイヤ内から取り出します。

タイヤ内を確認し、異物や突起物などがある場合は取り除き、リムテープが破損または劣化している場合は交換してください。

④ Cチューブのバルブをリム穴に挿入してリムナット・プランジャー・バルブナットを取り付けた後、10%ほど空気を充填します。

Cチューブの凹側がタイヤの回転方向に向くように配置してください。

⑤ ねじれや折れ曲がりには注意して、バルブ側から凹側(タイヤの回転方向)に向かってCチューブをタイヤ内に納めていきます。

⑥ 凸側をしっかりと凹側の奥まで挿入し、接合部をタイヤ内に納めます。

凸側と凹側に刻印された3本のラインが、一直線に揃うように挿入してください。

⑦ チューブを挟まないように、バルブの反対側(周の対面側)からビードをはめ込んでいきます。

⑧ ビードがリムに均一に納まっているか確認し、タイヤに表示された適正空気圧まで空気を充填します。

### - 注意 -

- ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。
- チューブ交換の際は、必ず適合するリムの形式やサイズをご確認のうえ、正しいサイズのチューブをご使用ください。
- 走行中にタイヤが外れる原因になりますので、タイヤを取り付ける際は、油やワックスを使用しないでください。
- 劣化防止のため、チューブ自体が白くなっている場合がありますが、ご使用上には問題ありません。
- 乗車前に空気圧の確認をおこない、常にタイヤに表示された適正空気圧でご使用ください。低空気圧で走行した場合、タイヤ内でCチューブが変形または結合部がずれて隙間が生じる可能性があります。
- Cチューブの接合部がしっかりと奥まで挿入されていない場合、乗車時に違和感を感じる可能性があります。
- 取り扱いに関してご不明な点がありましたら、専門店にご相談ください。

### - 保証期間 -

ご購入日より1年間：製造上の欠陥による機械部品の不良が対象です。

### - 保証の請求 -

保証を受けるには、ご購入日の日付の入った領収書が必要です。お客様の事故などによる外的要因、誤使用、改造、およびこの取扱説明書に従わない本来の用途以外のご使用による故障は保証を受けられません。故障した製品は故障状況を明記して、お買上げの販売店へお持ちください。お送りになる場合の送料はお客様にてご負担をお願いいたします。

\* スペックやデザインは改良のため予告なく変更されることがあります。